## 取締役会のスキル・マトリックス (2025年6月24日現在)



各取締役が保有するスキルを最大3つまで記載したもので、保有する全てのスキルを表すものではありません。

		取締役会が備えるべきスキル(知識・経験・能力)*							
氏名・役職		性別	企業経営	イノベーション テクノロジー	はたらくWell- being・ 人的資本経営	国際性	リスク管理 企業法務	財務・会計	サステナビリティ
水田 正道	取締役会長	男性	•		•				•
和田 孝雄	代表取締役社長CEO	男性	•		•				•
山内雅喜	社外取締役	男性	•	•	•				
吉澤 和弘	社外取締役	男性	•	•	•				
デボラ・ヘーゼルトン	社外取締役	女性			•	•		•	
村林 聡	社外取締役	男性	•	•				•	
榎本 知佐	社外取締役(監査等委員)	女性				•	•		•
友田 和彦	社外取締役(監査等委員)	男性	•				•	•	
菅谷 とも子	社外取締役(監査等委員)	女性	•		•			•	

* 取締役会か偏えるべきスキル	<b>正義</b>	人干ルの選定理田
企業経営	・ 自社の重要な意思決定を行った経験・能力	• グループビジョンである「はたらいて、笑おう。」を実現するための重要な業務執行の決定と、経営チームのリーダーシップの発揮において、取締役自身の経営者経験に基づく適切な経営監督機能を発揮するため。
イノベーション・テクノロジー	・ 企業経営における技術活用やイノベーションに関する知識・経験	• 経営の方向性に定めた「 <b>テクノロジードリブンの人材サービス企業」</b> への進化にあたり、イノベーションによる新たな価値創造や、グループが保有するデータやテクノロジー活用における適切な経営監督機能を発揮するため。
はたらくWell-being・人的資本経営	<ul><li>人的資本経営、人材戦略、健康経営等に関する知識・経験</li></ul>	当社がありたい姿に定めた「"はたらくWell-being"創造カンパニー」の実現を目指すにあたり、多様な人材が事業を加速させ、価値創造を推進していくにあたって、適切な経営監督機能を発揮するため。
国際性	国際的な機関や企業における多国間の組織運営、企業経営、事業運営に 関する経験・能力(アジアでの経験に限らない)	• グローバルに事業展開を推進していくにあたり、マネジメントとガバナンス体制の構築に関する適切な経営監督機能 を発揮するため。
リスク管理・企業法務	<ul><li>リスクマネジメントに関する知識・経験</li><li>企業法務やガバナンスに関する知識・経験</li></ul>	• 中長期的な企業価値の向上の前提として、「パーソルグループ行動規範」に基づき、健全な事業活動や法令遵守を推進するにあたり、適切な経営監督機能を発揮するため。
財務・会計	<ul><li>経営計画・予算・資本政策に関する知識・経験</li><li>財務会計の専門家としての十分な知識・経験</li></ul>	<ul><li>・ 中長期的な企業価値の向上を図るにあたり、財務基盤の成長性・効率性・健全性を確保し、適切なキャッシュアロケーションと株主還元を実現していくために必要な経営監督機能を発揮するため。</li></ul>
サステナビリティ	<ul><li>企業経営においてサステナビリティ推進や社会課題解決に取り組んだ経験・能力</li></ul>	• グループビジョンである <b>「はたらいて、笑おう。」</b> を実現する事業活動を通じて社会が抱える多様な課題や困難を克服し、社会に価値を創造していくサステナビリティ経営を推進するにあたり、適切な経営監督機能を発揮するため。